

プランクトン検鏡結果のお知らせ

本日午前、浦ノ内湾のプランクトン調査を行いましたので、結果をお知らせします。

検鏡の結果、魚類に対して有害なカレニア・ミキモトイが最高で650cells/ml、シャットネラ属が64cells/ml確認されました。シャットネラ属は増加傾向で、漁業被害が想定される密度を超えている地点がありました。

また、湾奥部では2m層で貧酸素の傾向が確認されました。湾中部でも5m層で溶存酸素量が4.0mg/L以上認められたものの、今後、貧酸素状態となる可能性があります。

貧酸素の条件下で給餌や網換えなどを実施すると、養殖魚の酸素消費量が増大し、大量死を招くことがあります。今後、降雨等で赤潮が再び発生する可能性が高いことから、慎重な養殖管理をお願いします。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

プランクトン (cells/ml)

| 調査地点 | 水深 | カレニア・ミキモトイ | シャットネラ属 |
|------|----|------------|---------|
| 鳴無 | 1m | 4 | 63 |
| | 2m | 44 | 41 |
| 中学校前 | 1m | 2 | 2 |
| | 2m | 27 | 12 |
| | 5m | 28 | 0 |
| 目ノクソ | 1m | 8 | 0 |
| | 2m | 9 | 64 |
| | 5m | 650 | 4 |
| 光松 | 1m | 4 | 2 |
| | 2m | 8 | 5 |
| | 5m | 250 | 2 |
| 大鹿 | 1m | 2 | 0 |
| | 2m | 2 | 5 |
| | 5m | 350 | 2 |
| 水試小割 | 1m | 0 | 0 |
| | 2m | 0 | 0 |
| | 5m | 4 | 0 |

漁業被害が想定される細胞密度

- ・カレニア・ミキモトイ: 数百～数千cells/ml (魚類等のへい死)
- ・シャットネラ属: 10～100cells/ml (魚類へい死)
- ・ケラチウム属: 100cells/ml～ (餌食いの悪化)

